

第10号
平成25年
8月発行

つ スポーツ推進
委員会通信



ふれ愛

発行
津市スポーツ推進委員会
広報部会

地域への生涯スポーツの普及・振興への探求!!

平成25年度 津市スポーツ推進委員会 総会

日 時：平成25年 5月12日 午後3時～

場 所：津都ホテル 5階 伊勢の間

平成25年度 通常総会 が5月に開催され、平成24年度 事業活動報告、収支決算報告、平成25年度 事業計画並、収支予算が議決され、平成25年度 事業活動がスタートしました。

平成24年度から「津市スポーツ推進委員」と改称され、1年があつという間に過ぎ地域での生涯スポーツの普及・振興活動の状況はいかがでしょうか？近年、スポーツ環境は目まぐるしく変化し、住民のスポーツに対するニーズの多様化、高度化、個性化が目立ってきました。従来の方法では「誰でも・気軽に・参加できる軽スポーツ」の実現ができず、戸惑いを感じている方も見えると思います。

このような中、地域への生涯スポーツの普及・振興するための様々な活動に加え、各推進委員が探究心を忘れずに取り組んでいくことが肝要と思われまます。

津市スポーツ推進委員会として、県下最大の組織力を生かし、有識者、行政のみなさんの力をお借りし、ニュー・スポーツの種目の充実を図っていかねばなりません。今後、ニュー・スポーツを拡充していくために津市スポーツ推進委員会から様々な情報発信をし、地域へ展開をしていく必要があると考えまます。



津市における地域スポーツの振興



津市スポーツ文化振興部長 新家 聡

現在、121名の津市スポーツ推進委員の皆様には、日頃より、本市のスポーツ振興並びに地域のスポーツ・レクリエーション活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

スポーツ推進委員を取りまく環境は変化し、平成23年には我が国のスポーツに関する施策の基本となる事項を定めるために昭和36年に制定されたスポーツ振興法が50年ぶりに全部改正され、スポーツ基本法が施行されました。

これまで「体育指導委員」と称されてきた皆様の役割は、スポーツの実技指導や助言を行うものとされておりましたが、スポーツ基本法では名称が「スポーツ推進委員」に変更となり、新たな役割として「地域のスポーツ推進のための連絡調整」が加えられ、これまで以上に企画や運営などのコーディネーターとしての活躍が期待されることとなったと思っております。

私が、平成20年4月にスポーツ振興課にまいりましてから、現在まで5年間に渡りスポーツ推進委員の皆様の活動を近くから拝見させていただいておりますが、時には地域のスポーツ推進のための調整役として、また時には指導・助言者として各地域において積極的に活動されているものと強く実感しております。

さて、本市のスポーツ振興としましては、平成30年にインターハイ、平成33年に国民体育大会の三重県での開催が予定されており、これらの開催に向けた取組みや開催を契機とした盛り上がりを好機ととらえ、これまで以上に津市のスポーツ振興を推し進めていくとともに、スポーツ振興の拠点施設であり、市民に身近で親しみのある施設でもある「新産業・スポーツセンター」の整備を進めてまいります。

この新たな施設は本年度より工事着工という段階で、平成28年度より供用開始を予定しておりますことから、完成後は、皆様の自主研修や会議の場としても有効活用を図っていただけるとともに、市民の皆様のスポーツ拠点となるよう皆様のご協力をいただきたいと思いますと考えております。

最後になりましたが、委員皆様の益々のご活躍と津市スポーツ推進委員会のご発展を祈念いたしまして、簡単ではございますが、私からのメッセージとさせていただきます。

平成25年度 三重県スポーツ推進委員研修会(女性部主催)に参加して

一身田地区 三岳 千津子

毎年7月第1土曜日に行われている女性部主催の研修会に参加をしました。七夕の時期のため、今年はどんなヒコボシさま・オリヒメさまが・・・と思いつつ、各地域の推進委員との出会いを楽しみに参加しました。

今回は、「テニボン」 テニスとピンポンを合わせた、誰にでも気軽にできるスポーツ! どの体育館でも、バトミントンネットは準備されていると思いますので、ラケットとスポンジボールがあれば、できちゃいます。北海道生まれの新しいスポーツ。ピンボンのルールで、小さめコートで、テニスをするという感じです。

亀山市スポーツ推進委員の方が丁寧に指導してくださいました。北勢地区での交流会も盛況だったようで、三重県下に広めたいという気持ちがよく分かります。とても楽しくて、夢中になります。

津市では、9月24日(火)のニュースポーツ研修会で推進委員全体にレクチャーし勤めていきたいと思います。

『テニボン』 どんなルール?

◎試合方法 ダブルス(4人)・シングル(2人)

◎サービスとサイド

サービスあるいはコートの選択はジャンケンで決めます。

◎サービス

サービスは一人5本ずつ打ちます。

(ダブルスはお互い5本ずつ)

サービスラインより左右のサービスゾーンに
対角線に打ちます。

ネットインはやり直します。

◎レシーブ

サービスのレシーブはワンバウンドしてから打ち
ます。ラリーはノーバウンドでもOKとします。

(ダブルスはレシーブ後どちらが打ってもよい)

◎得点

21ポイントとして、20ポイントずつの場合はジュース
となり、2ポイントを先取したチームの勝ちとします。

3ゲームで2ゲームを先取したチームの勝ちとなります。

得点はミスをする相手チームに得点が入ります。

※その他のルールについては卓球(ピンポン)のダブルスルールと同じです。



◇一〇メモ◇

テニボンは北海道の南の先端、様似町で生まれたオリジナルスポーツ、テニボンは「だれでも、どこでも」を合言葉に考案された新しいスポーツです。昭和58年、「生涯スポーツの町」を宣言した様似町では、町民一人ひとりのさまざまなスポーツ活動を通して健康で明るい豊かな生活の創造を進めてきました。その活動の一環として取り組んだのが、新しい生涯スポーツ種目の開発です。一人でも多くの人に愛される新しいスポーツにはだれでも、どこでも気軽に参加できること、そのためにルールが簡単でスポーツ技術のいらぬこと。雪に閉ざされる冬の北海道にあつてせまい場所でも楽しめることなどが要求されます。また、仲間の輪を広げ、地域の連帯を強めるといったコミュニティスポーツとしての役割も担うなど、多くの課題をクリアして誕生したのが、テニスとピンポンをミックスしたテニボンです。



ブロックだより

津 ブロック

◆ 橿形地区 フロアーカーリング大会 ◆

橿形地区 瀧本 真知子

梅雨の最中であるにも拘らず、良い
天気にも恵まれた6月2日(日) 橿形小学
校の体育館で、橿形地区フロアーカーリ
ング大会を行いました。

老若男女、約180名の参加者で地区
別12チームの対抗戦です。親睦であり
ながら、どのチームも優勝をめざして、
本気モード一杯です。優勝～5位まで表
彰され、みんな笑顔と元気のフィナーレ
となりました。

毎回、行事の度に協力して下さる地域の人達、そして役員、係の方々本当にありが
とうございます。



安芸ブロック

◆ ソフトバレー大会 ◆

豊津地区 古市 和也

梅雨であることを忘れるような晴天に
恵まれた6月30日、河芸体育館でソフ
トバレー大会がありました。今回はその
模様を報告します。

本大会は、地域総合型スポーツクラブ
「かわげスポーツクラブ」が主催で、私
たち安芸ブロックの河芸町選出の津市ス

ポーツ推進委員全員が運営委員として、ほとんどの行事運営に参画しています。

本来、津市スポーツ推進委員の方も多く参加いただくイベントですが、今年は津市
スポーツ推進委員の交流行事(ボウリング大会)と重なったため、一般の方が中心となり、
32チーム(160名)、混合A×10チーム、混合B×12チーム、女子×10チーム
の3クラスに分かれて実施しました。

サイン交換して攻撃フォーメーションを決めている上級者(混合A)から、当日初めて
チームを結成していっしょに楽しく汗を流そうと活動するチーム(混合B)もあり、当日
は、10才半ばかりから70歳越えまで幅広い年齢層の方に参加いただきました。

無理をせず、いつまでも健康で楽しく汗を流して行きたいものです。

★ 今大会の成績 ★

○混合A○

1位 ☆OPT☆

2位 南ヶ丘

3位 キン肉マン

○混合B○

1位 ミッチーズ

2位 BEECLOUD

3位 BLUEROSE

○女子○

1位 S・サンダーズ

2位 スズチャン

3位 げんきらぶ

久居ブロック

◆ 体育振興会の交歓会 ◆

桃園地区 安部 隆

平成25年6月23日(日)に久居体育館および久居スポーツ公園で体育振興会の交歓会が開催されました。

台風4号の影響が心配されましたが、当日は晴天!!スポーツ日和になりました。各7地区からソフトバレー12チーム、ユニカール10チーム、グラウンド・ゴルフ92名の、総勢約210名の参加がありました。初めての方からベテランの方まで、一緒に汗をかいて楽しみました。グラウンド・ゴルフでは、49本ものホールインワンが出て役員も驚いていました。年に一度の大会の場で、各チーム親睦を深めていました。このような交流の場を大切に、体育振興会・スポーツ推進委員が力をあわせこれからも続けていきたいです。



一志ブロック

◆ ファミリーバドミントンで交流会 ◆

川合地区 藤岡 三枝子

6月9日(日)美杉中学校において、一志ブロックの交流会がありました。当日は、うさぎ、かめ、たぬき、くまの4組(5~6名)に分かれファミリーバドミントンをしました。

最初は、和気あいあいとプレーを楽しんでいて笑顔も見えていたのですが、ゲームが進み得点も入り、同じ組の人達からの応援で気合いが入ったのか勝敗にこだわるようになりました。その結果、1対1の白熱した好ゲームが続きました。(接戦)(熱戦)(2~3日してから、足・腰が痛くならないかな?スポーツ推進委員だから大丈夫?)審判も5月29日(水)に講習会を開いたときは、「難しいな」と言っていました、今回は積極的にやってくれました。

「あ!それ反則や!・それはあかんやろ!・審判厳しいな!」と口々に言いながら、楽しい交流会を終えることができました。

これが一志ブロックの良いところです。また秋の交流会をお楽しみに!



再びのスポーツ推進委員

一志B 白山・大三地区 山下 満

仕事の都合で一年間休ませていただきましたが、この4月に復帰しました。

不器用な上に三日坊主の私ですが、身体を動かすことは大好きで、気持ちがいいです。そのような気持ちよさ、楽しさを一人でも多くの人に伝えられればと思います。

振り返れば、私は子どもの頃から野山を走り回るのが好きでした。そんな昔に戻ったかのように、この数年は走ることが楽しみとなり、マラソンにチャレンジしています。どこかで走っているところを見かけたら、気軽に声をかけてください。今後とも、
よろしく願
いします。



一年が過ぎて

安芸B 美里地区 森 浩子

美里地区より津市スポーツ推進委員に選出されて一年が過ぎましたが、仕事でなかなか参加できないのが残念です。

普段はママさんバレーをしています。老若男女と一緒に楽しめるスポーツが沢山あって感激しました。少しでも地域スポーツの普及・振興、さらにはスポーツを通じて人とのふれあい・つながり・絆を深めるお手伝いができるよう頑張ります。

まずは
去年より
出席回数
を増やし
たいです。



一年を振りかえって

久居B 立成地区 筒井 秀喜

私は、体を動かすのが好きで、今も趣味でスポーツをしています。

そんな私が昨年初めてスポーツ推進委員に委嘱され、交流や親睦を深め健康増進と体力維持を図りながら行事(大会等)に参加してみると、お年寄りの方々の澆刺とした動作で楽しそうに笑顔で行事に参加して良かったというのを見聞きするにあたり、スポーツ推進委員として参加することができて本当に良かったと思いました。

これからは地域住民の方々が楽しみながらスポーツに親しんでいただくために研修や行事に参加し、生涯スポーツの普及・振興に努めていきたいと思っています。

一年が経過

津B 高野尾地区 伊藤 博

スポーツ推進委員に委嘱され、早いもので一年が経過しました。

スポーツは大好きで、色々やってきましたが、ここでは初めて知ったスポーツばかりで、こんなスポーツもあるのかと驚きました。またそれと同時に不安もありましたが、先輩方に色々指導していただき、克服できました。

今年度は、昨年以上に力になれる様に頑張っていきますので、宜しくお願いします。



スポーツ推進委員 初任者研修会 に参加して！

豊ヶ丘地区 佐伯 龍一郎

研修内容はスポーツ推進に関して網羅的に説明が行われ、改めてスポーツ推進の意義と共に推進の難しさを感じました。

講義の内容の中から印象に残ったのは二つです。一つは、「スポーツにおけるチームの目的について」です。“チームは個人の限界を超えるためにあるのではなく、さらに大きな可能性を秘めたもの”という事でした。スポーツという競技を超えて、輪が広がるコミュニケーションが期待されそうです。二つ目は、「スポーツを楽しく親しみを感じてもらう為に！」ということで、“ルールを工夫して今ある力で楽しむ”ことの大切さ。これは、基本的なルールを踏まえつつ、それぞれの環境に応じて臨機応変に対応していくことだろうと思いました。

研修の最後は、グループ協議を行いました。「地域におけるスポーツ環境課題」についてです。各地域からスポーツ推進の課題がつぎつぎと出てきましたが、共通する課題は広報（啓蒙）活動と持続可能性の“戦略・戦術”ではないだろうか？と思いました。かなり難しい課題です。

今回の研修を振り返って感じる事は、「三重県スポーツ推進委員協議会」の力強いバックアップが極めて重要な役割を担っていると実感させられたことです。

——— 当日の記録 ———

○三重県スポーツ推進委員協議会○

性別：男（36名）・女（10名）

年齢：20代（0名） 30代（8名）

40代（26名） 50代（4名）

60代（13名） 70代（0名）

参加形態：

①スポーツ推進委員（41名）

※今年度で、1年目（23名）

2年目（4名）

3年目（4名）

11年目（1名）

13年目（1名）

14年目（1名）

15年目（1名）

②行政の担当者（6名）



ファミリー健康体力向上アドバイザー養成講習会

南立誠地区 坂井 孝二

7月28日(日)三重県スポーツ推進委員協議会の主催で、松阪市のさんぎんアリーナ(松阪市総合体育館)に於いて、スポーツ推進委員の資質の向上とアドバイザーとしての資格取得を目的とした研修会がありました。

講師に四日市市のスポーツ推進委員で、今回東京まで出向き研修を受け、ファミリー健康体力向上コーディネーターの資格を持つ、前田宏之さんに務めていただき、気心の知れた同じ仲間のユニークな講習に、津市や松阪市、志摩市、伊賀市のスポーツ推進委員も体育館の暑さは少し和らいたかのようでした。

5年ほど前に6歳から11歳対象の体力検定員の資格は取得していましたが、今回は6歳から64歳までの種目と、65歳から79歳までの高齢者の方達の種目の検定員資格にチャレンジです。

家族で体力測定会に参加し、それぞれの体力の状態を確認し合い、家族そろってスポーツに親しむ習慣を身につけ、子どもの優れた体力に驚いたり、まだまだ“いける”自分の体力を自慢したり、その逆の数値に“愕然”としたり・・・続けて体力の変化を比較出来るようになると良いですね。

まずは、スポーツ基本法から講習です。講習後実技に入り、握力測定、長座体前屈、上体起こし、反復横とび、立ち幅とび、20mシャトルラン、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行などの検定の仕方、記録表への記入の仕方、得点の付け方、総合評価までしっかりと3時間30分講義を受けてきました。



☆☆☆編集後記☆☆☆

立秋を過ぎても暑さがおさまらない。今年の暑さは異常で全国的に最高気温の記録が塗り替えられている。津市では、平成6年(1994年)8月5日に39.5℃を記録しており、これに匹敵する暑さでありこの記録を上回ることもあり得るような日々である。ニュースでもたびたび取り上げられているが、熱中症対策をわれわれ推進委員も講じていかなければならない。不測の事態に備え、熱中症にならないよう各々が気をつけ、万が一起きた場合、どのように対処するか自分なりにシミュレーションを考えて見るのも一策である。環境省では「熱中症予防情報メール」のサービスがあり、事前にこれらを利用するのもひとつの方法である。

「閑かさや岩にしみ入る蝉の声(芭蕉)」この句のようになかなか風情は味わえないが、夏の終わりの蝉「ツクツクボウシ」の声を早く聞きたいものである。(by Nabeyan)



●津市スポーツ推進委員会 事務局●

TEL:059-229-3254

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<http://tsu-sposui.com/>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<http://www.zentaishi.com/>